

令和元年度事業報告書

(平成31年4月1日～令和2年3月31日まで)

I 会務の概況

1 会員数 (令和2年4月1日現在)

区 分	団 体 数
正 会 員 (社 員)	40 団体
(地方公共団体)	(34 団体)
(関係団体)	(6 団体)
賛 助 会 員	2 団体
計	42 団体

2 職員数 (令和2年4月1日現在)

所 属	正規・嘱託職員	非常勤職員	計
事務局	1 名	1 名	2 名
第1指導班(東部保健所)	3 名		3 名
第2指導班(富士保健所)	2 名	1 名	3 名
第3指導班(中部保健所)	2 名	1 名	3 名
第4指導班(県動物管理指導センター)	3 名		3 名
静岡市動物愛護館		5 名	5 名
県動物管理指導センター		0 名	0 名
計	11 名	8 名	19 名

3 会 議

(1) 総 会

ア 第52回定時総会

令和元年6月20日 静岡県職員会館(もくせい会館)

議 事

- a 平成30年度事業報告並びに正味財産増減計算書及び貸借対照表承認の件
- b 令和元年度会費の額及び徴収に関する件
- c 任期満了に伴う役員選任に関する承認の件
- d 令和元年度役員報酬に関する件

報告事項

- a 平成30年度公益目的支出計画実施報告書について
- b 令和元年度事業計画並びに正味財産増減予算書について付帯決議

(2) 理事会

ア 第1回理事会

令和元年5月30日 静岡県獣医畜産会館

議 事

- a 平成30年度事業報告並びに正味財産増減計算書及び貸借対照表承認の件
 - b 平成30年度公益目的支出計画実施報告書承認の件
 - c 任期満了に伴う役員選任に関する承認の件
- 付帯決議

その他

- a 会員の退会と理事の辞任について
- b 連絡事項

イ 第2回理事会

令和元年6月20日 静岡県職員会館（もくせい会館）

議 事

- a 会長、副会長及び常務理事の選定に関する件

ウ 第3回理事会

令和元年11月20日 静岡県獣医畜産会館

議 事

- a 令和元年度上半期事業の実施並びに収支の状況について
- b 令和元年度下半期の主な事業について

その他

- a 登録動物愛護ボランティア現況調査について
- b 「動物愛護フェスティバル静岡2020」について

エ 第4回理事会

令和2年3月17日 静岡県獣医畜産会館

議 事

- a 令和元年度補正予算（案）承認の件
- b 令和2年度事業計画（案）承認の件
- c 令和2年度会費の額及び徴収に関する件
- d 令和2年度役員報酬（案）承認の件
- e 令和2年度会計予算（案）承認の件

付帯決議

その他

- a 登録動物愛護ボランティア現況調査進捗状況について
- b 公益目的支出計画変更認可申請について

(3) 三役会議

ア 第1回三役会議

令和元年5月23日 静岡県獣医畜産会館

議 事

- a 平成30年度事業報告並びに正味財産増減計算書及び貸借対照表承認の件
- b 平成30年度公益目的支出計画実施報告書承認の件
- c 任期満了に伴う役員選任に関する承認の件
付帯決議

その他

- a 会員の退会と理事の辞任について
- b 連絡事項

イ 第2回三役会議

令和元年11月13日 静岡県獣医畜産会館

議 事

- a 令和元年度上半期事業の実施並びに収支の状況について
- b 令和元年度下半期の主な事業について

その他

- a 登録動物愛護ボランティア現況調査について
- b 「動物愛護フェスティバル静岡2020」について

ウ 第3回三役会議

令和2年3月12日 静岡県獣医畜産会館

議 事

- a 令和元年度補正予算(案)承認の件
- b 令和2年度事業計画(案)承認の件
- c 令和2年度会費の額及び徴収に関する件
- d 令和2年度役員報酬(案)承認の件
- e 令和2年度会計予算(案)承認の件

付帯決議

その他

- a 登録動物愛護ボランティア現況調査進捗状況について
- b 公益目的支出計画変更認可申請について

II 実施事業

1 動物愛護思想の普及推進に関する事業

(1) 動物愛護週間行事推進のための事業

ア 「動物愛護フェスティバル静岡 2019」の開催

動物愛護週間行事として、「動物愛護フェスティバル静岡 2019」を開催した。

a 実施主体：(一社) 静岡県動物保護協会湖西支部

b 開催期日：令和元年9月29日(日)

c 開催場所：湖西市健康福祉センター、湖西市役所北側駐車場
湖西市勤労者体育センター

d スローガン：「人も動物も 湖西で輪になれ 令和の誓い」

e 実施内容

「セレモニー」 ○ 動物愛護絵画・作文コンクール優秀作品賞受賞者の表彰
○ 動物保護・愛護・長寿動物飼養功労者の表彰及び感謝状の贈呈

○ 動物愛護宣言の採択 等

「イベント」 ○ なぎさ保育園のマーチング演奏

○ 災害救助犬の実演 ○ ペットの健康・しつけ相談

○ 動物〇×クイズ ○ 動物とのふれあい

○ 動物愛護ボランティア活動紹介

「展示会」 ○ 動物愛護絵画・作文コンクール入賞作品の展示

f 広報：ポスター(130枚)とチラシ(14,000枚)等を作成し、湖西市の関連施設へ配布・掲示するとともに、各市町・各保健所・報道各社等へ配布。

g 来場者数：約1,500名

h 関係会議等

動物愛護週間行事打合せ会(準備会)

「動物愛護フェスティバル静岡 2019」実行委員会(4回開催)

イ 動物保護功労・動物愛護功労及び長寿動物飼養功労者等の表彰

動物の保護や動物愛護思想の普及啓発に特に功績のあった個人又は団体並びに他の模範となる動物飼養管理者等を表彰した。

(一社) 静岡県動物保護協会長表彰

動物保護功労	動物愛護功労	長寿動物飼養功労者	感謝状
4名	4名 1団体	6名 (犬2名、猫4名)	9名 2団体

受賞者氏名(敬称略)並びに団体名

【動物保護功労】

小池 嘉秀、松井 昭秀、高羽 孝成、浅木 直人

【動物愛護功労】

中村 仁、中村 幸子、久永 公子、松下 洋子
キャッツテール

【長寿動物飼養功労者】

樋本 隆宣、大杉 淑子、浮海 和子、忠鉢 信子、佐原 秀直、尾崎 通康

【感謝状】

柴田 さと、岡本 美代子、岩瀬 法子、木下 陽子、瀧澤 沙織、深澤 三千代
青木 嘉代子、森下 ひろみ、杉山 治子

アニマルフォスターペアレンツ、キャットサポーター浜松

ウ 小・中学生を対象とした動物愛護絵画・作文コンクールの開催

児童・生徒が思いやりを持ち、心豊かに育っていくうえで、動物とのふれあい
やその飼養経験は貴重な経験となる。

動物愛護絵画・作文コンクールは、身近な動物とのふれあいの中で感じたこと
を絵画・作文として表現することにより、動物愛護の気持ちが更に深まることを
目的として、県下の小・中学生を対象に開催している。

a 募集期間 : 令和元年6月から9月4日まで

b 応募状況と優秀賞作品数

区 分	応募絵画数	応募作文数	合計応募数	優秀賞作品数
小学校	1, 270 点	255 点	86 校 1,525 点	絵画 : 8点 作文 : 8点
中学校	454 点	621 点	71 校 1,075 点	絵画 : 8点 作文 : 8点
計	1,724 点	876 点	157 校 2,600 点	絵画 : 16点 作文 : 16点

c 賞別受賞者数

区 分	小学生	中学生	計
静岡県知事賞	2 名	2 名	4 名
静岡県議会議長賞	2 名	2 名	4 名
静岡県教育委員会教育長賞	2 名	2 名	4 名
静岡州市長会長賞	2 名	2 名	4 名
静岡県町村会長賞	2 名	2 名	4 名
湖西市長賞	2 名	2 名	4 名
(公社) 静岡県獣医師会長賞	2 名	2 名	4 名
(一社) 静岡県動物保護協会会長賞	2 名	2 名	4 名

エ 優秀作品等の展示会の開催並びに優秀作品集の発刊

a 優秀作品等展示会の開催

動物愛護絵画・作文コンクール優秀作品等を展示した。

(a) 中部地区展示会

期 間 : 令和元年12月12日(木)～12月25日(水)

会 場 : 静岡市のもくせい会館1階ギャラリー

(b) 東部地区展示会

期 間 : 令和2年2月3日(月)～2月7日(金)

会 場 : 富士宮市役所1階ロビー

(c) 西部地区展示会

期 間 : 令和2年2月26日(水)～3月4日(水)

会 場 : 磐田市の「ひと・ほんの庭 にこっと」

b 「令和元年度動物愛護絵画・作文コンクール優秀作品集」の発刊

絵画・作文コンクール優秀賞の作品を「令和元年度動物愛護絵画・作文コンクール優秀作品集」としてまとめ、11月に900部を発刊・配布するとともに、本協会ホームページにも掲載した。

オ 動物愛護週間街頭啓発キャンペーンの実施

動物愛護週間と「動物愛護フェスティバル静岡 2019」の開催を周知するとともに広く県民に動物の愛護と適正な飼い方について関心と理解を深めていただくため、街頭啓発キャンペーンを実施した。

日時場所 : 令和元年9月20日(金) JR浜松駅

啓発資材 : 「動物愛護週間を知っていますか」・「動物愛護フェスティバル静岡 2019」のチラシ・アニマルティッシュケースなどを容れ1,000セットを配布した。

参加者 : 湖西支部、静岡県西部保健所、湖西市等の関係者14名

カ その他

令和元年9月1日から28日まで、JR静岡駅北口中央地下道へ「動物愛護週間」及び「動物愛護フェスティバル静岡 2019」を広く県民に広報する横断幕を掲出した。

(2) 支部事業

ア 動物愛護教室の開催(資料1)

児童・生徒を対象に、動物の生態、習性を通して、その適正な飼養・管理や危害防止等を学ぶとともに、生命を大切に育む優しい心を育てることを目的として開催した。

開催状況 : 22市町で延べ38回開催

受講者等 : 2,605名

イ 犬と猫の飼い方教室の開催（資料2）

人と動物との共生をめざして、社会性のある犬の育て方や猫の習性などの知識を学び、適正な飼養管理の普及・向上を図ることを目的として開催した。

開催状況：1市で1回開催

受講者等：29名 24頭（受講動物）

ウ 社会福祉施設での動物ふれあい訪問活動（資料3）

社会福祉施設の入居者を対象に、動物を通して潤いと安らぎを感じてもらうことを目的に、ボランティア団体等の協力を得て実施した。

実施状況：14市町で延べ44回実施

入居者等：2,038名

参加スタッフ：525名 356頭（参加動物）

エ 飼い主を対象としたペットの災害対策研修会（資料4）

大規模災害の発生に備え、飼い主とペットが安全に同行避難し、さらに、避難所等での生活を余儀なくされた場合を想定し、クレート（ケージ）順応訓練の方法、飼い主明示、ペット用食料の備蓄、室内飼育（猫）や不妊・去勢措置などの準備を周知することを目的として開催した。

開催状況：5市町で延べ6回開催

受講者：138名

参加スタッフ：49名 9頭（参加動物）

(3) 猫の適正管理推進モデル事業（資料5）

「飼い主のいない猫」の問題が顕在化している地域（地区）を指定し、市町が地域の自治会・獣医師会・動物愛護ボランティア等と協働して、猫の不妊・去勢と適正飼養の推進・捨猫防止や環境美化など「地域猫」問題に取り組む事業の支援を行った。

指定市町・地区・支部：12市町の13地区（8支部）

不妊・去勢措置実施頭数：95頭

(4) 「ポッチとニャンチの愛の伝言板」の設置・運営事業（資料6）

ア 伝言板の利用実績

家庭で飼養している犬や猫等をゆずりたい人と新しく飼いたい人との間で橋渡しを行う場を提供することにより、ペット動物の終生飼養と殺処分の減少につなげることを目的に実施した。

申込頭数：767頭（犬141頭、猫616頭、その他10頭）

成立頭数：456頭（犬92頭、猫361頭、その他3頭）

イ 伝言板の新規設置等

西伊豆町に新規設置され、伝言板設置市町は32市町、設置箇所は41カ所（町費で1ヶ所設置した町あり）に増加した。

(5) 動物愛護に関する啓発・広報活動事業

ア 刊行物等の発行とチラシ等の印刷・配布

- ・「動物愛護週間を知っていますか」リーフレット (1,000 部)
- ・協会機関紙「動物保護協会報 (第 26 号)」(1,300 部)

イ ホームページによる新しい飼い主探しのための情報提供

不幸な動物を減らすため、本協会のホームページに「成犬譲渡情報」や「新しい飼い主探し」のページを設け、県民への情報提供に努めた。

(6) 動物愛護相談事業

事務局に寄せられた 420 件の様々な相談に対応した。その内容は、多頭飼育問題、動物の譲渡、虐待防止、飼い主不明の猫の保護依頼、動物愛護ボランティア活動についての質問など多様であった。

(7) 動物保護管理指導員活動事業 (資料 7)

ア 動物の保護及び管理に関する指導・助言

本協会が委嘱している動物保護管理指導員 (11 支部 65 名) が地域を巡回し、動物による危害の防止や適正な取り扱い等に関する指導、地域住民からの不妊・去勢、飼い方や健康管理に関する相談に対応した。

実績 : 危害防止指導頭数 702 頭 (犬 620 頭、猫 81 頭、他 1 頭)
生活環境の保全・飼い方指導件数 272 件 (犬 203 件、猫 58 件、その他 11 件)
不妊去勢・新しい飼い主さがし・所有者明示の指導頭数 1,740 頭 (犬 497 頭、猫 1,232 頭、その他 11 頭)
犬の登録等の指導頭数 269 頭
その他 536 件 (犬関係 247 件、猫関係 289 件)
など様々な指導を行うとともに住民からの相談に対応した。

イ 支部・市町への協力

各支部・市町の実施した様々な動物愛護事業に参加・協力した。

実績 : 277 回 (動物愛護教室 111 回、動物ふれあい訪問活動 102 回、ペット動物の災害対策 36 回、犬猫の飼い方教室 15 回、飼い主のいない猫対策 13 回)

(8) 静岡県被災動物救護計画等推進のための事業

ア 地域の防災訓練等への参加 (資料 8)

5 市町の防災訓練や同行避難訓練に積極的に参加し、市町の職員・地域の獣医師会・動物愛護ボランティアとともに飼い主の日頃からの備えについて広報した。

実績 : 5 市町の総合防災訓練・地域防災訓練に参画し、合わせて約 4,400 名に広報

イ 防災関係のイベントへの参加（資料 8）

9 市町で開催された防災に関するイベント会場においても、チラシ・パンフレット・パネルを用いてペット動物の災害対策について広報した。

実績： 延べ 14 回開催された防災関係のイベントに参画し、合わせて約 1,600 名に広報

ウ その他

平成 29 年 3 月に静岡県が策定・公表した「避難所のペット飼育管理ガイドライン」や平成 30 年 3 月に環境省が公表した「人とペットの災害対策ガイドライン」について、様々な機会をとらえて周知に努めた。

2 動物の保護及び管理に関する事業

(1) 動物保護業務等受託事業

静岡県の委託を受けて、動物保護第1指導班（県東部保健所）、同第2指導班（県富士保健所）、同第3指導班（県中部保健所）、同第4指導班（県動物管理指導センター）が「狂犬病予防法」、「動物の愛護及び管理に関する法律」、「静岡県動物の愛護及び管理に関する条例」及び「静岡県動物愛護管理推進計画」に関する業務を実施した。

ア 受託業務の内容

- a 動物愛護管理の普及活動
- b 愛護動物の遺棄及び虐待の防止に関する指導及び措置
- c 犬の登録及び予防注射の督励（資料9）

実績：20市町の延べ1,022件の戸別訪問指導を行い、狂犬病予防法に基づく登録指導（26頭）・狂犬病予防注射指導（446頭）及び登録・注射指導（101頭）を実施した。

- d 犬の保護及び収容
- e 動物の適正飼育管理指導
- f 犬及び猫の引き取り
- g 保護した犬並びに引き取った犬及び猫の返還及び管理
- h 被災動物保護・救護体制の整備
- i 保健所長及び動物管理指導センター所長が必要と認めた業務

イ 業務担当区域

指導班	事務所	管轄地区
動物保護第1指導班	東部保健所	賀茂、熱海、東部保健所管内
動物保護第2指導班	富士保健所	御殿場、富士保健所管内
動物保護第3指導班	中部保健所	中部保健所管内
動物保護第4指導班	動物管理指導センター	西部保健所管内

ウ 動物保護指導班業務実績（資料10）

各指導班の日常業務の多くは様々な苦情処理に割かれているが、本年度は3,415件の県民からの苦情・相談などに対応した。犬に関しては、「狂犬病予防法」に基づく登録・注射や鑑札・済票の装着を指導（6,305件）した。「動物の愛護及び管理に関する法律」に基づく犬猫を含む愛護動物に対しては、適正管理・所有者明示・無責任な餌やりに対する指導（13,193件）を実施した。

県民からの通報に基づく犬の保護・抑留は221頭であり、犬・猫の引取り頭数は249頭（犬4頭・猫245頭）であった。

保護・引取りした犬猫のボランティア団体又は個人への譲渡頭数は、215頭（犬90頭・猫125頭）であった。

(2) 負傷動物等保護収容措置事業 (資料 11)

静岡県の委託を受けて、公共の場所で負傷または疾病に罹っている所有者不明の指定動物 (犬、ねこ、いえうさぎ、鶏、いえばと、あひる) の保護収容業務を実施した。

実 績 : 203 件 (犬 10、猫 182、その他 11)

指定獣医師 : 217 名

(3) 静岡県動物管理指導センター週休日管理事業

静岡県動物管理指導センターの委託を受けて、週休日・祝祭日における動物舎の清掃、動物の飼養管理、動管センター動物愛護館並びに動物ふれあい広場の管理、動物愛護事業の補助等の業務を実施した。

(4) 犬・猫適正飼養等相談業務

静岡県の委託を受け、所有者の判明しない犬・猫の引取り、子犬・子猫をゆずる会並びに犬・猫の譲渡等の業務を実施した。

ア 所有者の判明しない犬・猫に関する相談の受付、引取り、運搬及び収容業務

実 績 () 内は子犬・子猫の再掲

項 目	第 1 班	第 2 班	第 3 班	第 4 班	計
犬引取り頭数	0	0	0	0	0
猫引取り頭数	9(9)	12(11)	0	32(32)	53(52)

イ 「子犬・子猫をゆずる会」に関する業務

a 子犬・子猫をゆずる会の開催

開 催 回 数 : 9 回

譲 渡 頭 数 : 42 頭 (子犬 10 頭、子猫 32 頭)

b 子犬・子猫をゆずる会における飼育講習会の開催

受 講 者 数 : 56 名

c 開催案内リーフレット・申込はがきの作成、配布

リーフレット : 1,700 部

申込はがき : 1,600 枚

ウ 譲渡候補となる犬及び猫の育成・譲渡

実 績

項 目	第 1 班	第 2 班	第 3 班	第 4 班	計
犬譲渡頭数	38 (30)	25 (18)	10 (5)	17	90 (53)
猫譲渡頭数	26	26	2	71	125

なお、() 内の数字は、犬譲渡頭数のうち、「成犬譲渡マニュアル」に基づき譲渡「適」と判定され、動物病院で健康判定を実施した譲渡候補犬の頭数。

(5) 静岡市動物愛護館管理事業（資料 12）

静岡市動物愛護館の指定管理者として業務を実施した。

ア 業務の内容

- a 動物愛護に関する講習会等の開催
- b 飼育相談
- c 動物ふれあい広場の開設
- d 施設・設備の維持管理
- e ふれあい動物の飼養管理
- f 動物の譲渡
- g 動物に関する図書・資料等の展示・閲覧
- h 体験学習（インターンシップ）の受入れ
- i その他、市長が必要であると認める業務

イ 来館者

実績：令和元年度来館者数 11,663 名

来館者の状況

平日	土曜日	日曜・祝祭日	イベント開催日	計
3,696	1,838	3,908	2,221	11,663

ウ 動物愛護に関する講習会等の開催

延べ 41 回開催し、3,499 名（大人 2,990 名・小中学生等 509 名）と 442 頭の動物の参加があった。

エ 飼育相談

施設の利用、伝言板・イベント・火葬に関する問い合わせなど、3,744 件に対応した。

オ 体験学習（インターンシップ）の受入れ

市内の中学・高校・大学などから 11 回、延べ 27 日間にわたって合計 22 名の生徒・学生等を受け入れ、体験学習を指導した。

カ 動物の譲渡

犬の譲渡	猫の譲渡	計
0	71	71

(6) 静岡市動物指導センターにおける土曜日動物火葬受付業務

静岡市の委託を受け、静岡市動物指導センターにおいて、土曜日のペット動物等の火葬受付並びに取扱手数料の徴収事務を実施した。

実績：火葬受付件数 425 件

3 その他目的を達成するために必要な事業

(1) 職員の研修・会議・行事等への参加

動物愛護管理業務研修会、第 56 回静岡県公衆衛生研究会 等

(2) 動物慰霊祭への参加

県下各地で開催された動物慰霊祭に参加し、動物の霊を慰めるとともに、各支部・市町との連携と情報交換に努めた。

開催年月日	名称	実施主体	開催地
令和元年9月29日	第47回 静岡市動物慰霊祭	静岡市動物慰霊祭 実行委員会	静岡市
令和元年10月18日	小笠支部・菊川市動物愛護会 合同動物慰霊祭	動物保護協会小笠 支部・菊川市動物愛 護会	菊川市
令和元年11月25日	掛川犬愛護会慰霊祭「愛犬を しのぶ会」	掛川犬愛護会	掛川市
令和2年2月14日	小動物慰霊祭	動物保護協会磐田 支部	磐田市
令和2年2月22日	動物慰霊祭	静岡県西部動物慰 霊祭実行委員会	浜松市

(3) 県健康福祉部衛生課主催の「動物愛護ボランティアとの意見交換会」への参加

開催年月日	開催場所	対象地域
令和元年10月18日	県熱海総合庁舎	賀茂・熱海保健所管内
令和元年10月23日	県中遠総合庁舎	西部保健所管内
令和元年10月28日	県富士総合庁舎	富士、御殿場保健所管内
令和元年10月29日	県藤枝総合庁舎	中部保健所管内
令和元年11月5日	県東部総合庁舎	東部、御殿場保健所管内

(4) 動物愛護関係各種イベントの後援・協賛

県内で開催された動物愛護関係団体等の行う事業を後援した。

第5回浜松市獣医師会年次大会

主催：(一社)浜松市獣医師会

会場：ホテル コンコルド浜松

年月日：令和2年2月9日(日)